



学校教育目標 進んで学ぶ子 仲良くできる子 たくましい子

児童数 男子493名 女子475名 計968名

TEL (048)222-4383

FAX (048)222-9388

㊦っかりと聞き・㊦くわく未来を語り・㊦すんで学び・㊦れにも仲良くできる しわすだっ子



## 虎は千里行って千里帰る

～ いろんなことにトラ(虎)イする年に ～

校長 石井 宏明

新年あけましておめでとうございます。

各ご家庭におかれましては、新しい変異株の蔓延を心配されながらの年末年始とはいえ、明るく希望に溢れた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

本年も、子供たちのため、保護者・地域の皆様のため、教職員一同「家庭・地域とともに 未来を拓く しわすだ笑楽幸」の実現に向け、精一杯努めてまいりたいと存じます。皆様には、旧年以上のご理解ご協力を賜りますよう改めてお願い申し上げます。

さて、表題の「虎は千里を行って千里帰る」には、以下のような意味があります。

- 1 虎は一日に千里の距離を走り、千里戻ってこれることができるほど、優れた行動力を持っていることから、人やものの勢いが非常に盛んな様子
- 2 虎は一日に千里の距離を走るが、巣穴にいる自分の子供を思って、また千里を走って帰ってくる。親が子を思う気持ちの強さのたとえ

学年のまとめでもある今学期は、子供たちに失敗を必要以上に恐れず、いろいろなことに「トライ」させ、伸ばしていきたいと考えております。（「結果を気にせずやってみよう」）

自信のないこと、初めて経験することには、心配や不安な気持ち(ネガティブな心理)になることは誰にでもあります。しかし、そのネガティブな心理にもポジティブなパワーはあるのです。ある心理学実験では、以下のような5つの効果があることが実証されております。

- 1 記憶をよくする
- 2 対人認知の正確さをもたらす
- 3モチベーションを高める
- 4 対人関係をよくする
- 5 説得力を高める

例えば、ポジティブな気分の際は、気が大きくなって、つい慎重さの欠ける判断をしやすいが、ネガティブの時には、かえって慎重になり、その慎重さが周囲に注意を払い、じっくり観察するという姿勢を促すため、見たり聞いたりした出来事をよく覚えていたり、周囲の情景をよく思い出せたり、相手をしっかりと観察して判断したりできるようになるそうです。

また、物事がうまく進んだり、賞賛されたりして、得意な気持ちになっている時は、つい気が緩んで手を抜いたりしがちですが、ピンチの時は必死にならざるを得ない。得意な気持ちでいる時は、つい自己中心的になりがちで、他者を軽んじるような態度をとる人も見られます。

このように、ネガティブ心理がポジティブパワーとなって、トライするためのモチベーションを高めたり、粘り強さをもたらせたりするという「よさ(効果)」もあるそうです。

ですから、私たち教師や親は、たとえ失敗しても前向きに受け止めさせるための言葉を用意しておく必要があります。

「誰だって失敗することはあるよ(先生だって)」

「私も小学生の時、〇〇して失敗したなあ…、あっはっは」

「失敗(挫折)を経験することで、人は強く、優しくなっていくんだよ。いい経験したね」

「結果がすべてじゃないよ。がんばることで力をつけていくことが大事なんだよ」

「がんばった時の爽快感は、(あなたにとって)かけがえのないものなんだよ」

「どう頑張れば次はうまくいくか、先生と一緒に考えようね」

子供たちを思う気持ちを皆様同様、強く持ち、さらによりよく成長させるよう教育活動を進めてまいります。そして、「虎に翼」のしわすだっ子にシタイガー。(たいなあ)